



2020年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2019年12月27日

上場会社名 株式会社 タカキュー

上場取引所 東

コード番号 8166 URL <https://online.taka-q.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大森 尚昭

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 林 宏夫

TEL 03-5248-4100

四半期報告書提出予定日 2019年12月27日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年2月期第3四半期の業績(2019年3月1日～2019年11月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第3四半期	16,504	10.2	346		174		449	
2019年2月期第3四半期	18,384	5.2	627		461		458	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第3四半期	18.47	
2019年2月期第3四半期	18.83	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第3四半期	13,192	4,977	37.7	204.30
2019年2月期	11,951	5,441	45.5	223.34

(参考)自己資本 2020年2月期第3四半期 4,977百万円 2019年2月期 5,441百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期		0.00		0.00	0.00
2020年2月期		0.00			
2020年2月期(予想)				2.00	2.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年2月期の業績予想(2019年3月1日～2020年2月29日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	4.0	100		300		100		4.10

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年2月期3Q	24,470,822 株	2019年2月期	24,470,822 株
期末自己株式数	2020年2月期3Q	105,094 株	2019年2月期	105,001 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年2月期3Q	24,365,748 株	2019年2月期3Q	24,366,142 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P2「1.当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
3. 補足情報	7
商品別売上高	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善が続き、緩やかな回復基調が続いておりますが、米中の貿易摩擦やユーロ圏及び中国の景気減速、日韓の経済摩擦の激化等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当アパレル・ファッション業界におきましては、Eコマース分野は伸びを示しているものの、10月からの消費増税もあり消費者の節約志向は依然根強く、経営環境は厳しい状況で推移しました。

このような経営環境のなか当社は、在庫の適正化・売り場鮮度の向上・値引販売等の抑制による商品粗利率の改善、不採算店舗の退店等による固定費の低減など、引続き強靱な財務基盤と安定的かつ継続的な収益構造の改革に取り組みました。

営業面では、引続き商品知識習得及び接客技術向上を動画教育プログラムで実施しました。加えて店舗毎に顧客特性を再定義し、それに応じたブランド・商品展開を明確に打ち出す売場構成の見直しに着手する等、商品・売場・販促施策の更なる一体化に取り組みました。また、免税取扱店舗を拡大してインバウンド需要の取り込み体制を強化したほか、アウトレット店舗を増やして在庫循環の仕組みの構築にも注力しました。さらに、「お客様の声」を営業政策、商品企画等に反映するため店舗からの情報をタイムリーに企画・施策に反映する体制を構築しました。

Eコマースの売上拡大に向けては、限定商品等の魅力ある品揃えを展開し、自社サイトでは動画を活用した商品の特徴・機能説明の一段の充実により、リアルに近い購買環境を整えて売上の増強を図りました。また購入商品を店舗で受け取れる体制を構築し、更に利用しやすくなりました。スマートフォン専用アプリについては、購入履歴の閲覧や一人ひとりに応じた情報提供に加え、会員向けクーポン券の電子化により利用可能額がいつでも確認できる様にする等の機能強化を進め、利便性向上と効果的な販促を通じてアプリ会員の新規獲得に注力いたしました。

商品面では、通勤スタイルのカジュアル化に対応した、オンでもオフでも使えるビジ・カジスタイル、「THE 3rd WARDROBE～はたらくヒトを応援する服」を、秋物以降の商品でも引き続き強化し、品揃えを充実させてまいりました。しかしながら当第3四半期会計期間は、長引く残暑、台風15号、19号による店舗休業、時短営業の影響に加え、消費税増税による一時的な買い控えもあり、9月、10月は苦戦を強いられ、不調に終わりましたが、11月に入り気温も平年並みに戻り、またブラックフライデーの販促効果もあり、防寒衣料に動きもみられましたが、当第3四半期累計期間の既存店売上高前年同期比は、12.1%減となりました。

店舗面では、主力業態のタカキューを2店舗出店し、一方低効率等によりタカキューを12店舗、グランバックを3店舗、TQアウトレットを2店舗、メール&コー、セマンティック・デザイン、エム・エフ・エディトリアル、シャツ・コードをそれぞれ1店舗退店した結果、当第3四半期会計期間末では前年同期比28店舗減の283店舗となりました。

その他、電子タグ（RFID）の導入を段階的に進め、物流センターにRFIDパッケージシステムを導入し物流業務の効率化を図りました。さらに、ロボットによる業務自動化ツール（RPA）を本格稼働し、効率化を図りました。

以上により、当第3四半期累計期間の売上高は165億4百万円（前年同期比10.2%減）、営業損益は3億4千6百万円の損失（前年同期は営業損失6億2千7百万円）、経常損益は1億7千4百万円の損失（同経常損失4億6千1百万円）、四半期純損益は4億4千9百万円の損失（同四半期純損失4億5千8百万円）となりました。

なお、当社は衣料品販売の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

資産の部は、前事業年度末に対して12億4千1百万円増加し、131億9千2百万円となりました。主な要因は、流動資産で現金及び預金が5億4千9百万円、売掛金が7億3千6百万円、商品が3億6千万円、固定資産で無形固定資産が1億5千7百万円それぞれ増加し、流動資産でその他の前払費用が7千2百万円、固定資産で有形固定資産が6千3百万円、投資その他の資産で敷金が2億3千8百万円、繰延税金資産が1億4千9百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

負債の部は、前事業年度末に対して17億5百万円増加し、82億1千4百万円となりました。主な要因は、流動負債で支払手形及び買掛金・電子記録債務が7億2千9百万円、短期借入金が10億円、その他の未払金が2億9千8百万円それぞれ増加し、流動負債で賞与引当金が1億6千2百万円と資産除去債務が流動負債で9千3百万円、固定負債で5千1百万円それぞれ減少したこと等によるものであります。

純資産の部は、前事業年度末に対して4億6千3百万円減少し、49億7千7百万円となりました。主な要因は、利益剰余金が4億4千9百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年2月期通期の業績予想につきましては、2019年4月9日に公表いたしました業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2019年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	769,785	1,319,413
売掛金	1,386,119	2,122,204
商品	3,546,714	3,906,745
貯蔵品	60,129	78,579
その他	328,374	222,547
流動資産合計	6,091,123	7,649,490
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	787,295	683,783
機械及び装置（純額）	—	6,093
器具及び備品（純額）	236,674	270,519
その他（純額）	0	312
有形固定資産合計	1,023,970	960,709
無形固定資産	216,587	373,860
投資その他の資産		
関係会社株式	437,253	417,150
賃貸不動産（純額）	75,573	74,033
差入保証金	155,961	155,961
敷金	3,555,246	3,317,056
繰延税金資産	351,887	202,181
その他	43,661	42,148
投資その他の資産合計	4,619,583	4,208,531
固定資産合計	5,860,140	5,543,101
資産合計	11,951,264	13,192,592

（単位：千円）

	前事業年度 (2019年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2019年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	896,516	750,249
電子記録債務	2,390,192	3,265,750
短期借入金	—	1,000,000
未払法人税等	118,891	100,925
賞与引当金	213,733	51,071
店舗閉鎖損失引当金	15,551	5,906
その他	1,217,200	1,435,275
流動負債合計	4,852,086	6,609,178
固定負債		
資産除去債務	1,547,142	1,495,491
その他	110,174	110,004
固定負債合計	1,657,317	1,605,496
負債合計	6,509,403	8,214,675
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,000,000	2,000,000
資本剰余金	568,485	568,485
利益剰余金	2,707,720	2,257,740
自己株式	△26,415	△26,432
株主資本合計	5,249,789	4,799,792
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	192,071	178,124
評価・換算差額等合計	192,071	178,124
純資産合計	5,441,861	4,977,917
負債純資産合計	11,951,264	13,192,592

（2）四半期損益計算書
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 2018年3月1日 至 2018年11月30日）	当第3四半期累計期間 （自 2019年3月1日 至 2019年11月30日）
売上高	18,384,987	16,504,236
売上原価	7,463,726	6,238,463
売上総利益	10,921,260	10,265,773
販売費及び一般管理費	11,548,282	10,611,840
営業損失（△）	△627,022	△346,066
営業外収益		
不動産賃貸料	235,022	232,395
手数料収入	74,847	74,740
その他	31,583	28,646
営業外収益合計	341,452	335,782
営業外費用		
不動産賃貸費用	152,948	148,900
その他	23,133	15,364
営業外費用合計	176,082	164,264
経常損失（△）	△461,651	△174,549
特別損失		
減損損失	69,791	30,897
特別損失合計	69,791	30,897
税引前四半期純損失（△）	△531,442	△205,446
法人税、住民税及び事業税	90,409	88,672
法人税等調整額	△163,068	155,861
法人税等合計	△72,659	244,534
四半期純損失（△）	△458,782	△449,980

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

3. 補足情報

商品別売上高

	前第3四半期累計期間 (自 2018年3月1日 至 2018年11月30日)		当第3四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)		前事業年度 (自 2018年3月1日 至 2019年2月28日)	
	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)	金額(千円)	構成比(%)
重衣料	7,622,718	41.5	6,856,315	41.5	10,356,039	41.4
中衣料	951,131	5.2	831,964	5.0	1,827,677	7.3
軽衣料	9,108,592	49.5	8,181,318	49.6	11,809,949	47.3
その他衣料等	702,544	3.8	634,637	3.9	1,003,589	4.0
合計	18,384,987	100.0	16,504,236	100.0	24,997,254	100.0

- （注） 1. その他衣料等はスカート、ワンピースのほか、クレジットカード会員獲得に伴う手数料収入、衣料品の修理・加工に伴う収入等であります。
2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。